

一宮市農業委員会農業委員候補者の推薦及び応募状況（中間公表）

団体による推薦

被推薦者（推薦を受ける方）									推薦者（推薦をする方）					
氏名	性別	年齢	職業	経歴（原文のまま）	農業経営の状況		認定農業 者資格に 有無	農地利用最 適化推進委 員への推薦 の有無	組織の名称	代表者又は 管理人氏名	法人又は 団体の目的	構成員 数；人	構成員の 資格	推薦理由（原文のまま）
					経営面積	農業従事日数								
星野 幸代	女	48	農業	令和5年7月～ 一宮市農業委員	15,000 m ²	300 日/年間	有	無	愛知西農業協同組合 朝日生産組合 連合会	仲山 正晴	営農・生活向上などJA及び関係機関の方針を理解し協力して地域の農業の発展に寄与すること	750	愛知西農業協同組合 朝日支店 正組員	被推薦者は、女性認定農業者であり、農業に対しても精力的に従事され、農業に関する見識も十分に有しており、地域農家情報に精通している。以上のことから農業委員としての確であると判断し推薦する。
小川 隆文	男	60	農業	平成18年4月 尾西採種組合役員、平成18年4月 尾西白菜部会 部役員	20,500 m ²	300 日/年間	有	無	愛知西農業協同組合 朝日生産組合 連合会	仲山 正晴	営農・生活向上などJA及び関係機関の方針を理解し協力して地域の農業の発展に寄与すること	750	愛知西農業協同組合 朝日支店 正組員	被推薦者は、尾西白菜部会部および尾西採種組合の役員を経験されており、農業に対しても精力的に従事され、地域の担い手農家からの人望も厚い。農業に関する見識も十分に有しており、地域農家情報に精通している。以上のことから農業委員としての確であると判断し推薦する。
伊藤 新八	男	68	農業	1979年～ 農業	4,772 m ²	350 日/年間	有	無	愛知西農業協同組合 丹陽農事組合 連合会	重松 健三	営農・生活向上等、JA及び関係機関の方針を理解し、協力して地域の農業の発展に寄与すること	496	愛知西農業協同組合 丹陽支店における組合員及び農業者	被推薦者は、猿海道地区において農業経営をしており、生産者として農事組合活動や地域の振興に尽力し、その営農姿勢はもちろんのこと、その他の方面においても組合員・地域住民からの人望を得ている。さらに、農業全般に対する識見も十分であり、農業委員として適任であると判断し推薦する。
伊串 昌樹	男	44	農業	家事手伝い 30年 令和4年 就農 現在に至る	2,000 m ²	350 日/年間	有	無	愛知西農業協同組合 丹陽農事組合 連合会	重松 健三	営農・生活向上等、JA及び関係機関の方針を理解し、協力して地域の農業の発展に寄与すること	496	愛知西農業協同組合 丹陽支店における組合員及び農業者	被推薦者は、伝法寺地区において農業を営んでおり、生産者として農事組合活動や地域の振興に尽力し、その営農姿勢はもちろんのこと、その他の方面においても組合員・地域住民からの人望を得ている。さらに、農業全般に対する識見も十分であり、農業委員として適任であると判断し推薦する。
加藤 勝行	男	75	農業	令和元年 萩信農産代表理事 現在に至る	5,400 m ²	200 日/年間	有	無	萩原農事組合 連合会	祖父江 政義	農業生産力の増進と農業者の所得向上	668	5アール以上の土地を耕作する農業を営む個人、もしくは年間60日以上農業に従事しており、当JA管内に居住する者	被推薦者は農業法人萩信農産の代表理事であり、地域の担い手農家からの人望も厚い。農業に関する見識も十分に有しており、農業に精力的に従事している。

一宮市農業委員会農業委員候補者の推薦及び応募状況（中間公表）

団体による推薦

被推薦者（推薦を受ける方）										推薦者（推薦をする方）					
氏名	性別	年齢	職業	経歴（原文のまま）	農業経営の状況		認定農業 者資格に 有無	農地利用最 適化推進委 員への推薦 の有無	組織の名称	代表者又は 管理人氏名	法人又は 団体の目的	構成員 数；人	構成員の 資格	推薦理由（原文のまま）	
					経営面積	農業従事日数									
浅野 富士男	男	79	農業	小信川土地改良区 理事長 宮田用水土地改良区 理事 一宮市農業委員会 副会長 尾西市農業委員会 会長 愛知西農業協同組合 代表監事	105,000 m ²	250 日/年間	有	無	愛知西農業 協同組合 尾西生産組 合連合会	浅野 富士 男	営農・生活向 上などJA及び 関係機関の方 針を理解し協 力して地域の 農業の発展に 寄与すること	404	愛知西農 業協同組 合 尾西 支店 正 組員	被推薦者は、西五城地区において農業経営をしており、長年生 産組合長として地域の振興に尽力し、その営農姿勢についての みならずその他方面での活動についても組員・地域住民から の人望も厚い。また農業関連の役員を歴任しており農業全般に たいしての識見も十分有し、地域農家情報にも精通している。 以上のことから農業委員としての確であると判断し推薦する。	
川井 達朗	男	76	農業	城南実行組合 組合 長	2,970 m ²	150 日/年間	無	無	木曽川町実 行組合連合 会	祖父江 正 志	農業生産力の 向上と農業者 の経済的・社 会的地位の向 上	479	木曽川町 に在住し 10a以上 の農地を 有する者	被推薦者は、木曽川町黒田地区に於いて農業を営んでおり、地 域の担い手農業者からの人望も厚く、農業活動を通じて農業及 び農家情報に精通しています。また、耕作放棄地の未然防止や 解消、農地利用の最適化の推進など農業委員会業務に大きく貢 献されると考えるため推薦いたします。	
後藤 多美子	女	75	農業	平成24年JA愛知西女 性部千秋支部を創 設、平成29年3月ま で千秋支部長。以 後、現在に至るまで 千秋支部地区役員。	5,500 m ²	150 日/年間	無	無	JA愛知西 女 性部	足立 純子	グループ活動 を通じ「食」 「農」「健 康」「文化」 への理解を深 め、女性の社 会的・経済的 地位の向上を 図り、健康で 明るい豊かな 地域社会を築 くことを目的 とする	766	愛知西農 協の組合 員または、その 家族で、 女性である こと。	被推薦者は、永年にわたり、女性部活動を通じて地域農業や農 家情報に精通されていることから、農業委員会業務に多大な貢 献が期待できる。	
伊藤 則夫	男	77	農業	平成26年浅野西屋敷 東町内会長 平成28年から民生児 童委員3期 令和元年から西成土 地改良区理事2期 令和4年度浅野農事 組合連合会会長 令和5年から農地利 用最適化推進委員 (現在に至る)	4,000 m ²	200 日/年間	無	無	浅野農事組 合連合会	大島 文雄	営農、生活向 上などJA及び 関係機関の方 針を理解し協 力するもの	433	愛知西農 業協同組 合 正組 員	被推薦者は浅野地区において農業を営んでおり、当地区の正組 員の方々から信頼をされ、また地域のことに精通していま す。このことから、農業委員会委員として農地利用最適化推進 委員と連携し、農地利用の最適化（担い手への農地利用の集 積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）に ついて的確な仕事を熟せると判断し推薦します。	

一宮市農業委員会農業委員候補者の推薦及び応募状況（中間公表）

団体による推薦

被推薦者（推薦を受ける方）									推薦者（推薦をする方）					
氏名	性別	年齢	職業	経歴（原文のまま）	農業経営の状況		認定農業 者資格に 有無	農地利用最 適化推進委 員への推薦 の有無	組織の名称	代表者又は 管理人氏名	法人又は 団体の目的	構成員 数；人	構成員の 資格	推薦理由（原文のまま）
					経営面積	農業従事日数								
忝本 英典	男	40	農業	令和4年4月～令和5 年3月 JA愛知西 青 年部副部長 令和5年4月～現在に 至る JA愛知西 青年 部部長	102,000 m ²	330 日/年間	無	無	JA愛知西 青 年部	忝本 英典	地域農業の振 興を図り、中 核農家の育成 ならびに農業 協同組合に寄 与することを 目的とする	17	愛知西農 協の組合 員または その家族 の農業に 従事する 青年 49 歳までの 者	被推薦者は、JA愛知西青年部の部長を務めており、施設ナス栽培、米作を中心に地域の担い手農家として農業に従事しているため、JA愛知西青年部から推薦する。

一宮市農業委員会農業委員候補者の推薦及び応募状況（中間公表）

応募

氏 名	性別	年齢	職 業	経歴（原文のまま）	農業経営の状況		認定農業 者資格に 有無	農地利用最適化推進委員 への応募の有無		応募理由（原文のまま）
					経営面積	農業従事日数				
井戸 光江	女	58	派遣社員	昭和61年4月～63年12月㈱東海理化電気製作所 一般事務、平成1年1月～平成4年3月トーア㈱ 営業事務、平成4年4月～平成8年4月㈱安井 一般事務、平成8年11月～平成14年8月㈱ペルソナカード 一般事務、平成18年1月～平成26年8月㈱UCS コールセンター、平成27年1月～平成28年3月イオンフードサプライ㈱ 一般事務、平成28年4月～令和1年5月㈱マイサポート 一般事務、令和1年6月～令和3年8月㈱サポートプラス介護事務、令和4年6月～令和6年8月㈱丸福産業 介護事務、令和4年9月～現在 ㈱昭和事務（派遣）	3,944 m ²	日/年間	無	無	地区	農業従事者の高齢化や次世代の後継者不足を考えると、現行の体制のままでは放置耕作地が増加し続けることが懸念されます。こうした課題に対し、AIやロボット技術を活用した少人数による大規模農業の実現に向け、その基盤づくりに携わりたいと考えております。また、今だけでなく、10年、20年、30年先を見据えた持続可能な農業のあり方を計画的に検討していくことが重要だと考えております。
奥 智子	女	49	行政書士	平成10年～江南市職員として勤務。 平成16年～行政書士補助者・土地家屋調査士補助者として勤務。 平成29年～一宮市内に行政書士事務所を開業し、農地法許可、開発許可、建築許可等の土地建物に関する許可申請と相続・遺言業務をメイン業務としている。 コスモス成年後見サポートセンター会員として後見業務を受任している。 令和7年～稲沢ロータリークラブ理事及び国際奉仕委員長。	0 m ²	0 日/年間	無	無	地区	私の祖父母が農家だったため、地域農業、農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消等には大変興味があります。 私は農地を所有しておらず、農業は営んでいないため、中立的な立場から農業委員会業務に貢献できると考えます。 また、農地法の業務を日々手掛けていることから、その知識も生かせるのでは、と考え応募致しました。